

作成日2007年 4月 2日
改定日2016年 4月 1日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

【製品情報】

製品名 アスファルトピッチ
製品説明 全天候型舗装補修材

【会社情報】

会社名 株式会社 ユニテック
住 所 大阪府大阪市西区立売堀3-5-12
担当部門 営業本部販売促進
担当者 加藤 久仁幸
T E L 06-6535-7730 F A X 06-6535-7740
整理番号 AP16-009

2. 危険有害性の要約

OSHA危険性	:	なし
GHS分類	:	
物理化学的有害性	:	なし
健康に対する有害性	:	
急性毒性 経口	:	区分外
経皮	:	区分外
吸入	:	区分外
皮膚腐食性/皮膚刺激性	:	分類できない
目への重篤な損傷/眼刺激性	:	区分2B
呼吸器もしくは皮膚への感作性	:	分類できない
生殖細胞変異原性	:	区分外
発がん性	:	区分外
生殖毒性	:	区分外
特定標的臓器毒性(単回暴露)	:	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)	:	区分2
吸引性呼吸器毒性	:	分類できない
水生環境有害性(急性)	:	分類できない
水生環境有害性(長期間)	:	分類できない
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHSラベル要素、注意書き含む

絵文字:



注意喚起語: 警告
危険有害情報: 皮膚に接触すると有害の恐れ
眼刺激

注意書き:

予防策	粉塵／煙を吸引しないこと 取扱後はよく手を洗うこと
対応	目に入った場合は水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること目の刺激が続く場合は医師の診断手当を受けること
破棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に破棄を委託すること

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	:	混合物	
成分及び含有量	:	植物系炭化水素	: 5- 7%
		砕石 (Crashed stone)	: 93-95%
化学特性(化学式)	:	特定できない。	
危険有害成分	:	特定できない。	
化学物質管理促進法	:	非該当	
労働安全衛生法	:	鉱油(第57条の2、通知対象物 政令番号 第169号)	
毒物劇物取締法	:	対象物でない	
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	:	企業機密なので記載できない。	
CAS No.	:	企業機密なので記載できない。	

4. 応急処置

目に入った場合	:	直ちに多量の水で十分洗い流しのち、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	:	直ちに水と石鹼で付着した部分を洗い流す。
吸入した場合	:	直ちに新鮮な空気のある場所に移動する。体を毛布等でおおい、保温して、安静を保ち、必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	:	無理に吐かせないで、速やかに医師の手当てを受ける。口の中が汚染されている場合には、水で十分洗う。

5. 火災時の処置

消火剤	:	霧状の強化液、粉末、泡、炭酸ガス消化剤が有効である。
消火方法	:	1. 初期の火災には粉末、炭酸ガス消化剤を用いる。 2. 大規模火災の際には、泡消化剤を用いて空気を遮断することが有効である。
使ってはならない消火剤	:	棒状の水を用いてはならない。火災を拡大し危険な場合がある。
特定の消火方法	:	1. 火元への燃焼源を断つ。 2. 周囲の設備等に散水して冷却する。 3. 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	:	作業時には保護具(保護眼鏡、防塵マスク、保護服、ゴム手袋、ゴム長靴等)を着用する。
環境に対する注意事項	:	1. 周辺の着火源を取り除く。 2. 飛散しないよう注意し、掃き集め回収する。 3. 付着したものは、ウエス等で拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意： 1. 炎、火花、又は、高温体との接触を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させない。
2. 皮膚に触れたり、目に入る可能性がある場合は、保護具を着用する。
- 保管上の注意： 1. 直射日光を避け、換気の良い場所に保管する。
2. 熱、スパーク、火炎並びに静電気蓄積を避ける。
3. 強酸類、アルカリ類、酸化性物質との接触並びに同一場所での保管を避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度： 基準値は設定されていない。
- 許容濃度： 日本産業衛生学会（2004年度版） 鉱油ミスト 3mg/m³
ACGHI（2004年度版）（Oil mist,mineral） 5mg/m³
- 設備対策： 屋内作業場は、換気扇等の排気装置を設置する。
- 保護具： 防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋、を着用し、また状況により保護衣等を着用する。
- 適切な衛生対策： 現在有用な情報なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理的状態： 固体
- 形状： 粒状
- 色： 黒色
- 臭気： わずかな臭気
- pH： 該当しない。
- 引火点、沸点： 約200℃(COC)
- 凝固点： 認められない
- 発火点： 約240℃
- 爆発特性 爆発限界： 下限:0.5容量% 上限:5.0容量%(推定値)
- 比重： 1.8
- 溶解性
- 水に対する溶解性： 認められない(不溶性)
- 揮発性： 認められない

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 常温で暗所に貯蔵・保管された場合、安定である。
- 反応性： 強酸化剤との接触を避ける。
- 避けるべき条件： ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触しないように注意する。
- 危険有害な分解生成物： 燃焼の際は、煙、一酸化炭素、亜硫酸ガス等が生成される。
- その他： 現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

- 急性毒性： 経口 ラット LD₅₀ 5000mg/kg以上(rat) (推定値)
- 局所効果： 液は、目、皮膚と粘膜に刺激を与える。
- 慢性毒性： 現在のところ有用な情報なし。
- がん原性： OSHAでは「IARCグループ3(ヒトに対して発がん性について分類出来ない)」に分類している原料を使用している。
- 変異原性： 現在のところ有用な情報なし。
- 生殖毒性： 現在のところ有用な情報なし。
- 催奇形性： 現在のところ有用な情報なし。
- その他： 製品は、通常常温で使用するが、高温時に発生するガスを吸入すると嘔吐及び目眩を起こすことがある。

12. 環境影響情報

蓄積性 : 現在のところ有用な情報なし。
魚毒性 : 現在のところ有用な情報なし。
生態毒性 : 現在のところ有用な情報なし。
生態蓄積性 : 現在のところ有用な情報なし。

13. 廃棄上の注意

河川・海洋・下水・排水管等に流したり、投棄しないこと。
産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること。
国及び都道府県並びにその地方の法規・条例に従うこと。
これらの廃棄方法は、化学物質等(残余廃棄物)だけでなく当該化学物質等が付着している汚染容器・包装にも適用される。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 該当しない。
国連分類 : 国連の定義による危険物に該当しない。
国内規制 : 消防法・毒物及び劇物取締法・高圧ガス保安法・船舶安全法・港則法
航空法等のいずれにも該当しない。
輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器に漏れのないことを確かめ、落下、破損等がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法) : 対象外
毒物劇物取締法 : 対象外

16. その他の情報

引用文献

化学大辞典(共立出版株式会社)
化学便覧・基礎編(丸善)
既存化学物質データ要覧(海外技術資料研究所 1974)
13700の化学商品(化学工業日報社)
IARC MONOGRAPHS ON EVALUATION OF CARCINOGENIC RISK TO HUMANS
: VOLUME 45

危険・有害性、物理化学的性質などの情報は必ずしも充分でないので、取り扱いには十分に注意して下さい。
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び知見に基づいて改訂されることがあります。